

ことわざの誤解(ファイルNo.1)

次の二つの諺(ことわざ)は、正しく使われているでしょうか。クイズだと思って考えてみてください。

①あのような悪い人に同情して甘やかしてはいけない。「情けは人の為ならず」というではありませんか。

②お茶でも一緒にどうですか。「袖ふれあうも多少の縁」というじゃないですか。

正解は、二つとも間違い。

「情けは人の為ならず」は若い人の間では、よく間違っ使用されています。「情けは人のためにならないから(甘やかすことになるから)情けをかけてはいけない」という意味にとらえているのです。文化庁による二〇〇一年の世論調査では、誤用の割合が正しい理解を上回っています。本来の意味は「情けは人のためではなく、いずれ自分に返ってくるのであるから、誰にでも親切にしておくのが良い」というものです。

古語なら「人の為なり」という断定を打ち消した表現であること、つまり「他人のためではない。自分のため」と分かるのですが、古語の意味が薄れたため誤解が広まったのでしょう。

「情けが仇(情けがかえって悪い結果を生む)」という諺があることも一因と考えられます。

誤解を生まないよう、また意味を分かりやすくするため、後ろに一文を追加する次のような例もあります。

「情けは人の為ならず 巡り巡って己が身の為」

◎多少と多生

次の②は、女性をナンパしているような例文ですが、教養のある女性を誘うことはできないでしょう。

道ですれ違い袖が触れ合うようなことも多少の縁だから、出会いを大切にしなければならぬ。

このように理解して使っているなら、大恥をかかもしれません。この諺を正しく表記すると「袖振り合うも多生の縁」です。ポイントは「多少」ではなく「多生」だということ。多生は、仏教の輪廻転生や因果応報の考え方による言葉。生死を繰り返して生まれ変わるから、道で人とすれ違うようなことでも過去の縁によるものだということ。すべてはただの偶然ではなく、縁による必然なのです。

だから、多少と多生では、意味がまったく異なるのです。多生を「他生」としている例もあり、他生が正しいと思っている人も多いようです。他生も仏教の言葉で、今生(こんじょう)に対する前世と来世を示します。他生でも間違いと言いつれないのですが、他生だと前世の縁に限定する必要がありません。来世の縁では因果が崩れてしまうからです。意味がまったく変わるわけはないので、他生を正解とすることも可能でしょう。「多少」を訂正するならば、本当は「多生」であることを知っておきたいものです。

◎他力の本当の意味

仏教関係の言葉をとりあげた「縁」で、間違っ使用されている代表的な仏教用語を挙げておきます。「他力本願」という言葉です。

自力でなく他人まかせ、という程度の軽い意味で使われています。とんでもないことです。

他力本願の思想は、浄土真宗の根幹に関わります。もともとの意味は、阿弥陀様が菩薩から如来になるときに立てた衆生救済の誓願によって成仏すること。

この場合の他力は、他人の助けなどという軽い意味ではなく、絶対的な阿弥陀如来の力なのです。この絶対的他力は、分け隔てなく、善人も悪人も、衆生すべてを救済するのです。想像もつかないような大きさと深さがある救いなのです。

早いもの勝ち!
ガスファンヒーター
レンタル
台数限定・期間限定



〈1シーズン〉
¥3,675
(税込み)



正しい応急処置⑤
誤飲、救急箱

ベンジン、灯油、殺虫剤などを誤飲する可能性は高くありませんが、幼児は思いがけない行動をすることがあります。誤飲したときは、吐き出させてはいけません。無理に吐くと喉がただれるだけでなく、逆流した液体の揮発成分が気道から肺に入り肺炎になる危険性もあります。誤飲した場合は、すぐに病院に行くべきです。

5回にわたって応急処置について紹介してきましたが、処置の判断に迷ったら、病院に電話し、病院に行く必要があるかを確認するのがよいでしょう。

最後に、ご家庭の救急箱(薬箱)は、いざという時のため、年に1度くらいチェックすることをお勧めします。市販薬の使用期限は、未開封で3年程度のものが多いためです。

★さんまの甘露煮★

〈材料〉さんま5匹、ザラメ150g、酒・醤油各75cc、生ショウガ千切り(または、さんしょ)

- ①さんまの頭、内臓を取り、6等分する
- ②フライパンにすべての材料を入れ、中火が弱火で1時間から1時間半煮る(水は入れない。さんまの水分と酒、醤油だけで)



友人に教えてもらってから、よく作ります。骨までやわらかくておいしい。

「わが家の自慢料理」にふるってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。

わが家の自慢料理
〈水戸市 安達賀弥子様〉